

第35期（令和7年度）収支予算書（案）
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：千円）

科目	奨学・助成事業	法人会計 (管理費)	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
基本財産受取配当金	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
② 特定資産運用益	412,457	7,150	419,607	348,617	70,990	
特定資産受取利息	67,333	7,150	74,483	16,672	57,811	(注1)
特定資産受取利息振替額	325,468	-	325,468	312,235	13,233	(注2)
特定資産受取配当金	19,656	-	19,656	19,710	△ 54	
経常収益 計	522,806	43,933	566,739	495,749	70,990	
(2) 経常費用						
① 事業費	672,580	-	672,580	544,113	128,468	
奨学金支出	525,400	-	525,400	428,770	96,630	
外国人留学生	260,400	-	260,400	226,800	33,600	(注3)
外国人招致留学生	93,500	-	93,500	88,370	5,130	
日本人留学生	171,500	-	171,500	113,600	57,900	(注3)
助成金支出	71,500	-	71,500	46,416	25,084	
国際学術共同研究	30,000	-	30,000	15,000	15,000	(注3)
アジア地域重点学術研究	41,500	-	41,500	31,416	10,084	(注3)
経費支出	75,680	-	75,680	68,927	6,754	
役員報酬	-	-	-	6,972	△ 6,972	(注4)
給与手当	37,100	-	37,100	24,851	12,249	(注4)
退職給付費用	864	-	864	690	174	
賞与引当金繰入額	2,115	-	2,115	1,882	233	
法定福利費	4,410	-	4,410	4,760	△ 350	
福利厚生費	252	-	252	168	84	
賃借料	16,835	-	16,835	16,835	-	
水道光熱費	71	-	71	71	-	
会議費	5,000	-	5,000	5,000	-	
印刷図書費	2,000	-	2,000	2,000	-	
旅費交通費	3,000	-	3,000	3,000	-	
通信費	1,890	-	1,890	1,050	840	
消耗品費	461	-	461	461	-	
事務用品費	-	-	-	133	△ 133	
支払手数料	1,000	-	1,000	700	300	
減価償却費	682	-	682	354	329	

科目	法人会計 (管理費)		令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増減	備考
	奨学・助成事業					
② 管理費	-	39,440	39,440	35,726	3,714	
役員報酬	-	3,156	3,156	6,369	△ 3,213	(注4)
給与手当	-	15,900	15,900	10,649	5,251	(注4)
退職給付費用	-	370	370	296	74	
賞与引当金繰入額	-	907	907	807	100	
法定福利費	-	1,890	1,890	2,040	△ 150	
福利厚生費	-	108	108	72	36	
交際費	-	50	50	50	-	
賃借料	-	6,743	6,743	6,743	-	
水道光熱費	-	29	29	29	-	
会議費	-	500	500	376	124	
旅費交通費	-	1,200	1,200	1,100	100	
通信費	-	810	810	450	360	
消耗品費	-	197	197	197	-	
事務用品費	-	-	-	67	△ 67	
監査報酬	-	3,860	3,860	2,760	1,100	
支払手数料	-	2,700	2,700	2,700	-	
減価償却費	-	20	20	21	△ 2	
雑費	-	1,000	1,000	1,000	-	
経常費用計	672,580	39,440	712,020	579,839	132,181	
当期経常増減額	△ 149,774	4,493	△ 145,281	△ 84,090	△ 61,191	
2. 経常外増減の部						
該当なし						
当期一般正味財産増減額	△ 149,774	4,493	△ 145,281	△ 84,090	△ 61,191	
一般正味財産期首残高			1,699,460	1,783,549	△ 84,090	
一般正味財産期末残高			1,554,179	1,699,460	△ 145,281	
II 指定正味財産増減の部						
基本財産運用益	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
基本財産受取配当金	110,349	36,783	147,132	147,132	-	
特定資産運用益	325,468	-	325,468	312,235	13,233	
特定資産受取利息	325,468	-	325,468	312,235	13,233	
一般正味財産への振替額	△ 435,817	△ 36,783	△ 472,600	△ 459,367	△ 13,233	
基本財産受取配当金	△ 110,349	△ 36,783	△ 147,132	△ 147,132	-	
特定資産受取利息	△ 325,468	-	△ 325,468	△ 312,235	△ 13,233	
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	
指定正味財産期首残高			25,203,757	25,203,757	-	
指定正味財産期末残高			25,203,757	25,203,757	-	
III 正味財産期末残高			26,757,936	26,903,217	△ 145,281	

- (注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

(注1) 当事業年度において預け金から26億の国内債券及び100億の定期預金を取得したため、係る利息収入が増加している。

(注2) USD建債券を\$60,000,000有しているが、前期の予算策定時より円安が進んでいるため、為替レートを147円から154円に変更して計算しているため、その分増加している。

(注3) 事業規模拡大のため、事業費を増額している。

(注4) 常勤役員であった坂本氏が役員を退職し、新たに職員となったため、役員報酬は0となり、その分給与手当が増加している。